



6. 事業の効果を把握するための手法及び効果の見込み

事業の期待される成果 スタジアム整備が本県の地域活性化や交流人口の拡大にどう影響するのかなど、議会や県民に示すための具体的な調査・研究を行うことができる。

指標	指標名								指標の種類
	指標式								成果指標 業績指標
	年度別の目標値（見込まれる成果による指標）								
	指標	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	33年度	34年度	最終年度
	目標a								
	実績b			データ等の出典					
	東北 全国								

把握する時期 当該年度中 月 翌年度 月 翌々年度 月

指標	指標名								指標の種類
	指標式								成果指標 業績指標
	年度別の目標値（見込まれる成果による指標）								
	指標	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	33年度	34年度	最終年度
	目標a								
	実績b			データ等の出典					
	東北 全国								

把握する時期 当該年度中 月 翌年度 月 翌々年度 月

指標を設定することができない場合の効果の把握方法  
 指標を設定することが出来ない理由  
 新スタジアム整備構想策定協議会は、新たなスタジアムを整備する場合の様々な課題をより具体的に調査・研究するものであるため、具体的な指標を設定することは困難である。

見込まれる効果及び具体的な把握方法(データの出典含む)  
 新たなスタジアム建設は確定していないことや、見込まれる効果の調査を行っていないため、現時点で把握することは困難である。

事業の必要性

現状の課題及び施策目的に照らした事業の必要性  
 ブラウブリッツ秋田がJ2ライセンスを取得するには、暫定的なホームスタジアムとなる八橋陸上競技場の改修と新たなスタジアム整備に向けた具体的なアクションが必要となっていることから、来年度、秋田市が行う同競技場の改修と同時に、新スタジアム整備に向けた様々な課題について調査・研究する。

住民ニーズに照らした事業の必要性  
 スタジアム建設に関しては、平成29年3月に約18万筆からなる署名及び要望書が知事と秋田市長に提出されているほか、2017シーズンJ3で初優勝を果たしたことから、J2リーグでのプレーを望む声やスポーツを通じた地域振興への期待が高まっている。

事業の県関与の必要性  
 法令・条例上の義務 内部管理事務 県でなければ実施できないもの  
 民間・市町村で実施可能であるが、県が関与する必要性が認められるもの

県も秋田市、男鹿市、由利本荘市、にかほ市と同じくホームタウンの一員であることから、新たな協議の場の設置及び検討に参画する。

政策評価委員会意見	
重点事業の適合及び指標・目標値の適合性判定	

重点事業      その他